

2024.10月

銀の汗 Again

A面

あさくさ:浅草寺幼稚園:総裁選



スカイツリーがすぐ近くに見えます



浅草寺境内の浅草寺幼稚園



晴天の浅草寺

晴天の9/2浅草寺幼稚園の施工中、突然現場責任者より、総裁選立候補の小泉進次郎候補が幼稚園訪問との事で、すぐに片付けてくださいとの要請あり、その約1時間後に8人乗り乗用車から、颯爽と進次郎候補が降り立ちました。屋上での現場記念写真は無く、3秒で幼稚園に向かい、夜のニュース番組では、幼稚園を訪問した候補という事で、園児と戯れる姿が映し出されましたが、もちろん全国制覇を目指す、UNマシンは一切映らずに番組は終了。五重塔だけは、銀の汗を流した、職人とOPを見続けていました。

赤坂小学校



ウレタン1層目のグラウンド



左:1月入社新人金森営業がUN初見学へ



建物2階がグラウンド



60号でご案内した、港区立青南小学校に続き港区赤坂の近所には国立新美術館や東京ミッドタウンがある、赤坂小学校のUN施工を行いました。

グラウンド部は建物2階にあり、1階が小学校入口門になっています。

(面積を最大限活用したつくり)

1階日陰となるエントランスにUNマシンを設置し2,000㎡のグラウンド部を約6時間で施工。

1月入社の弊社営業担当も、初めてUNマシンを見てそのスピードと施工店さんの満足反応に驚きました。

下校時ハーフでモデルのような、おぼっちゃまを拝見しさすが港区の小学校だと、一流メーカーのヘルメットをかぶったアジア代表OPは「ともだちー」と叫びました。

港区教育ビジョン「夢と生きがいをもち自ら学び、考え行動し、未来を創造する子ども」にあるよう共々、ニッポンの未来を創造してまいります。



ギフトショーにて



左:特販宮崎担当

国内最大級のギフトショーが9月4日～6日、国際展示場にて開催。

商品名「オートストック」

ノルウェー生まれの本格派、布製のタイヤチェーンのブース前で立ち止まったところ、担当者より多くの説明プレゼンを受けました。

計量・コンパクトで取り付けも簡単な布製タイヤチェーン JAF車両にも搭載されている実績があります。

特販チームにおいては、お客様からご希望があれば鉛筆1本からロケットまでご提案させていただきます。その為にも、最新のトレンドを学び研究をしています。お問い合わせあれば、特販チーム宮崎迄お願いいたします。

【連絡先】 090-5785-0091

2024.10月

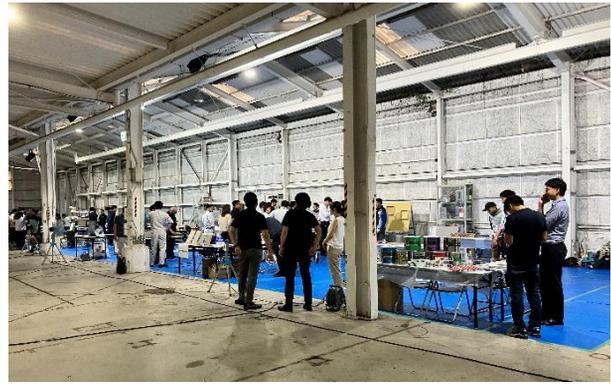
銀の汗 Again

B面

第二倉庫で実技勉強会



いつもはUNマシンメンテナンス基地



車両を移動または現場施工でメンテナンス基地部を利用して実技勉強会場所へ(9/18.19)

新木場にある東京物流第二倉庫の約半分はUNマシンの車両基地で、雨の日でもメンテナンスが可能となり、UNマシン4台と産廃2トン車両1台、空ドラム数10本、その他機械化省力化工法関連マシンの保管基地となっていますが、現在そのスペースを活用し半年に1回、弊社営業、カスタマーサービス、化研G員対象に、メーカー勉強会を開催。実物の材料を混ぜたり、貼ったり塗ったりの実技勉強会を開催しています。メーカーの各担当者さんも弊社の営業およびCS部員と生の交流ができ、毎回盛大に行なわれます。この時UNマシンは端に1台しか置けませんので、たまった代休を利用するOPもあります。万が一開催日が雨の場合はUN施工はなく車両基地での4台メンテ中心になります。そこで、いつも開催日は、『晴天でUN施工ができますように』と祈っています。

8月9月は学校案件が多



富里市立日吉台小学校

8月.9月と、恒例の学校案件は、今年も多くの申込を頂きました。(謝)

学校は広いグラウンド等、UN車両置き場も心配なく比較的大規模面積を施工しますのでUNマシンのパフォーマンスを発揮するにはもってこいの現場となります。

ただ現場においてはカンカン照りの日陰がない所にUN車設置の可能性もあり、広さが逆に仇になる場合もあります。

9月案件では、授業がはじまり、UNマシンの音を少し気にする現場もございますが、最新の7号8号機は静音タイプで作業時、発電機の音のみの60~65デジベル程度(60デジベル=走行中の自動車内やデパート店内)となっています。



中野中学校



(株)興和リニューアル様



坂戸市立桜中学校

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

マーリンズ戦で6打席6安打10打点3本塁打2盗塁で、その日「50-50」を達成した大谷選手。もう人間国宝、いや人間世界遺産のような活躍に同じ日本人として嬉しくおもいますが、50-50を達成した時の対戦相手マーリンズのシューメーカー監督の言葉が、本当に素晴らしかった。「私は、選手たちが彼を恐れず、勝負に行ったことを誇りに思う、マーリンズにとって良くない日でも、ベースボールにとって良い日だった…」云々言えますか?こんなフェアでかっこいいセリフ。視野の広さと気品ある44歳の青年監督。絶対マーリンズは今後スバラシイチームになり歴史に名を残す戦いをするチームになると思います。この正々堂々のフェアな精神が日本の武士道精神にも通じ、だからこそアメリカと日本は根っこの部分で、お互いをリスペクトできる関係が築けるのだと思います。

以前UNマシンをご利用いただいたお客様を訪問し、なぜUN採用していただいたんですか?と直接伺いました。手間が減って楽だからかな?最終的に儲かるからかな?などこちらサイドが考えた答えを半分期待していました。その時社長は、「若手を育てたいんだ、若手はいつも荷揚げや荷下ろしなど雑工事が中心で、何時までたっても塗らしてもらえない、このシステムなら若手にウレタンを塗らしてあげることが出来、仕事に面白味を感じることが出来るだろ...恋人にあのビル俺が防水やったんだと自慢できるじゃないか...」と言われ、目から鱗が落ちました。そうです、UNマシンは人手不足が続く中、若手の職人に夢と未来を与えることが出来るシステムです。これからも正々堂々とUNマシンの推進をチームで取り組んでまいります。

